

北の江の島構想 ~古くて新しいまち江差~

概要版

【目次】

1.	(1)	はじめ 構想 構想	の背	景		的		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1
2 .	,基	基本構	想	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	, •		•	•	•	2
	(1)	基本	的な	考	え方	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
	(2)	課題	と構	想	(解	決	策))		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
	(3)	かも	め島	工	リア	整	備	計	画	図		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4
	(4)	開陽	丸(マリ) —	ナ) ;	工	IJ	ア	整	備	計	画	図		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	6
		港湾																														12
		イメ																														13
	(7)	全体	事業	費	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
3.	樟	排想推	進に	2向	け	7		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	, •		•	•	16

1. はじめに

(1) 構想の背景と目的

天然の良港を築き、北前船交易の舞台として江差の歴史を育み、まちのシンボルとして人々に愛され続けてきた「かもめ島」。

景勝、史跡などの自然環境や歴史文化、隣接する海の駅「開陽丸」・江差港マリーナなど、かもめ島周辺には、人々を魅了する江差ならではの資源が豊富にあります。

北海道新幹線開業、日本遺産認定など町を取り巻く環境が変わる中、地 方創生を推進していく上で、古き良き文化や資源と新たな魅力を融合し、 古くて新しい町「江差」を代表する観光の拠点として、町民や観光客が集 う新たな交流人口の拡大による「稼ぐ力」「儲ける仕組」を構築し地域の 活性化を目指します。







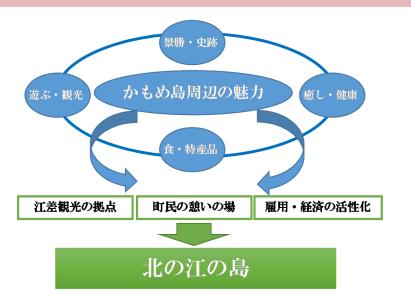


(2) 構想の目指すところ

かもめ島の景勝、史跡などの自然環境や歴史文化、隣接する海の駅「開陽丸」・江差港マリーナなど江差ならではの資源を活用し、町民や観光客が集 う拠点にします。

- 1 交通の利便性・アクセス性を改善すると伴に、情報発信機能の強化と周辺の魅力を高めることにより、観光拠点づくりを行います。
- 1 新たな観光体験や食に関するメニューを開発し、感動・賑わいをもった エリアづくりを行います。
- 1 町民の憩いの場として、楽しみながら「遊び・癒し・健康」の空間づく りを行います。

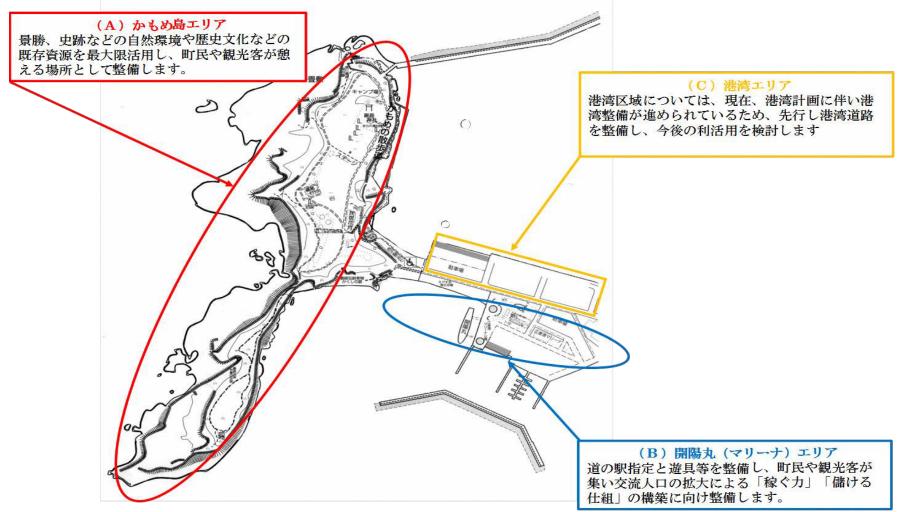
上記の3つの取組みにより、交流人口・観光消費の拡大やリピーター率の向上を図り、ひいては地域における雇用・経済の活性化と移住・定住につなげます。



(1) 基本的な考え方

北の江の島構想の推進にあたっては、町のシンボル「かもめ島」を本場「江の島」のように町内外から人が集まる拠点として、周辺のポテンシャルを最大限活用し、魅力の向上と新たな交流の創造、更には、雇用を含めた地域の活性化を行政、町民、各団体等と連携し推進していきます。

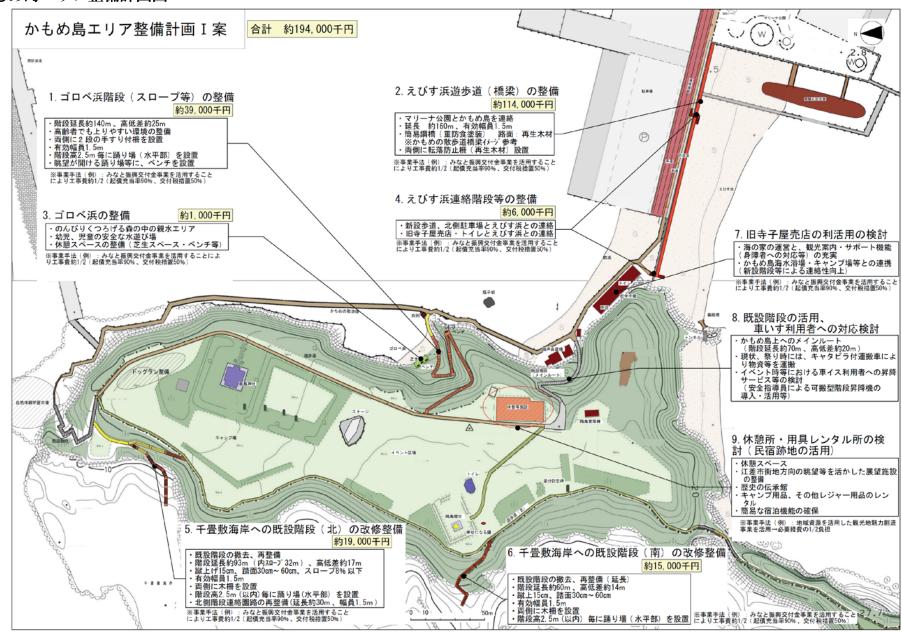
北の江の島構想の3つのエリアとコンセプト



(2) 課題と構想 (解決策)

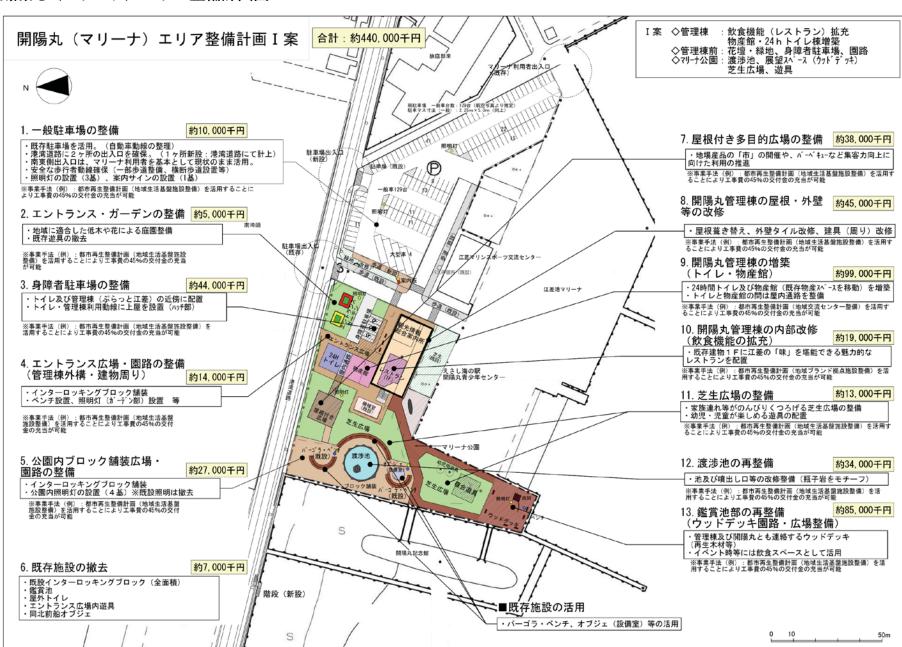
エリア	課題	構想(解決策)
江差町全体 (アクセス)	○自動車によるアクセスルート等を適切に観光客向けに案内する等、より便利な情報提供が課題である。○幹線道路等から観光拠点等へのアクセス機能の向上が必要である。○ドライブ観光客は、アクセスの安全性・利便性のみでなく、観光に関する情報を得ること、景色をみることも楽しむため、景観・情報発信の向上も課題である。	○国道227号から港湾道路へのアクセス機能の向上及び開陽丸青少年センターでの情報発信機能の強化とエリア全体の魅力を高め、江差町の観光の玄関口としての整備を推進する。
江差町全体 (観光面の資源)	 ○江差町全体の客室稼働率は平成28年度で約15%であり、全国平均59.7%に比べ極めて低位にとどまっており、持続可能性も危惧される。このため、既存宿泊施設の施設・サービスの充実と宿泊旅行の誘致が重要な課題である。 ○江差町は、道内では有名で希少な有形無形の歴史資源を有していることから、道南を訪れる観光客の行動の中に江差町をどう位置づけ、楽しんでもらうかという視点が重要と考えられる。 ○体験観光のメニューを充実させ、観光客の滞在時間をできるだけ長くすること、江差町の多様な歴史文化資源と「食べる・泊まる・遊ぶ(るるぶ)」との連携により、深く楽しむことができるように誘導することが重要と考えられる。 	町民の憩いの場として、「遊び・癒し・健康」を楽しみながら体験できる空間づくりを推進する。 ○かもめ島エリア、開陽丸(マリーナ)エリアにおける散策、マリンスポー
江差町全体 (観光拠点)	○現在の「道の駅江差」は、駐車場収容台数、屋内スペースの広さや新たな機能の拡張や可能性の面で課題がある。○新たな観光拠点については、来訪客が多く集まり収容能力が高い開陽丸青少年センター周辺が候補地になると考えられる。○さらに「道の駅」の基本的機能(休憩機能、情報発信機能、地域の連携機能)や魅力ある新たな観光拠点の検討が課題。	憩機能、地域連携機能の充実等)や「道の駅」の基本的機能を備えた施設
かもめ島エリア	 ○かもめ島では、かもめの散歩道等のフットパスコースがあり、瓶子岩など景勝地が多く見られるが、島上までの歩行者用アクセス路は階段の二つで、自動車通行禁止になっているため、高齢者も含めた安全で快適なアクセスを確保していると言い難い。 ○島上には、かつて民宿花月があったが現在営業しておらず、管理案内人も常駐していないため、観光案内等のサービスが低下している。 ○かもめ島周辺は、磯釣りや海苔摘み、キャンプ場など自然を満喫できる江差ならではの素材があるが体験観光等に活かされていない。 	整備 ○カモメの散歩道から島上へアクセスするゴロベ浜階段(スロープ等)の再 整備
開陽丸 (マリーナ) エリア	 ○平成2年のオープン時、約148千人/年の来訪者であったが、近年は20千人/年程度と減少している ○開陽丸青少年センター、マリーナ公園が老朽化・陳腐化している⇒開陽丸青少年センター:屋根・壁等の防水機能の劣化、トイレ等休憩機能の不足や劣化、物産販売・飲食の不足、情報発信機能(広域観光、多言語化等)の不足⇒マリーナ公園:渡渉池、鑑賞池、遊具の老朽化⇒駐車場:身障者駐車場や大型車対応の不足 ○かもめ島エリアと開陽丸(マリーナ)エリアは、隣接しているが、歩行者が安心・快適に歩けるアクセス路がない 	 ・飲食機能(フードコート、屋根付き多目的[バーベキュー] 広場) ・物産販売機能(物産館 [増築]) ・休憩(トイレ機能) (24時間対応) ○マリーナ公園の再整備 ・渡渉池・鑑賞池の再整備 ・町民と観光客でつくるグラウンドアート、ユニークな銅像設置 ・芝生広場、エントランスガーデン
港湾エリア	○エリア全体と市街地・町内外を結ぶための港湾道路が老朽化し、景観を損なっている。また、国道からのアクセスがわかりづらい。	○国道からの導線として港湾道路の整備(カラー舗装)、案内標識設置検討 ○港湾道路の歩道設置、景観向上、環境整備

(3) かもめ島エリア整備計画図

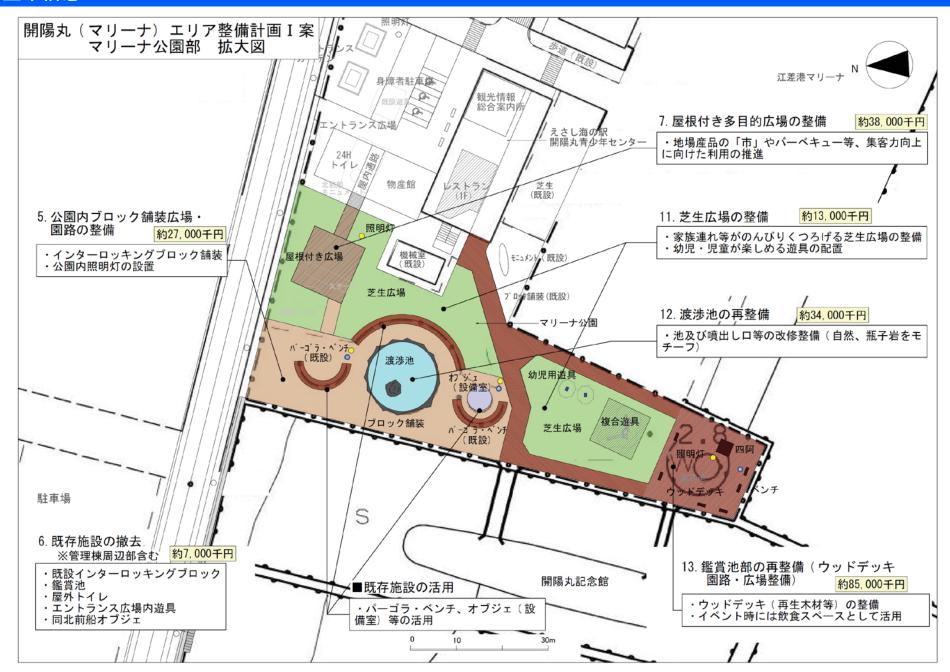


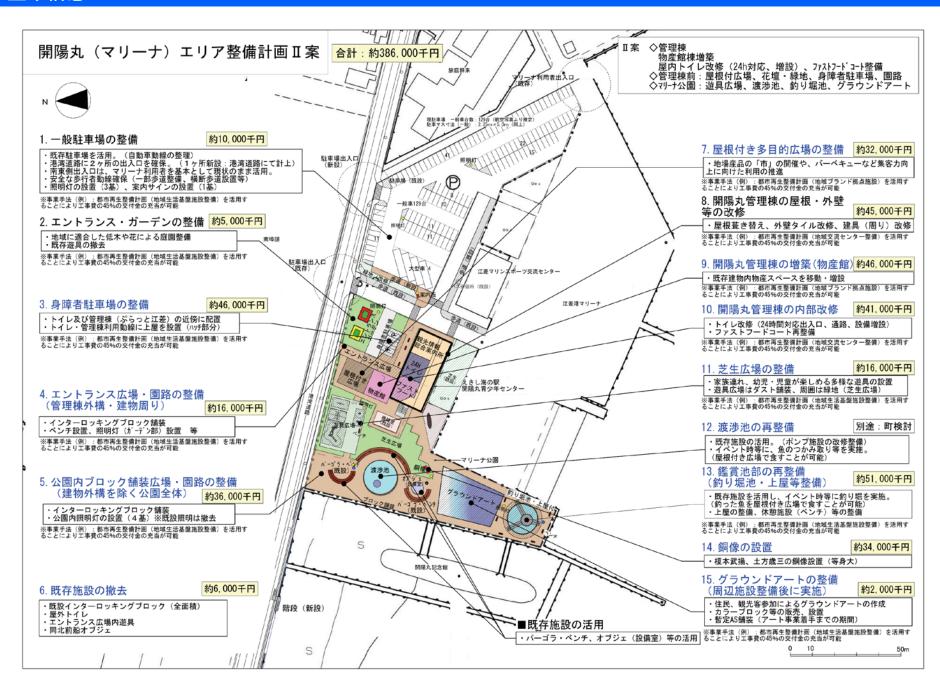


(4) 開陽丸 (マリーナ) エリア整備計画図

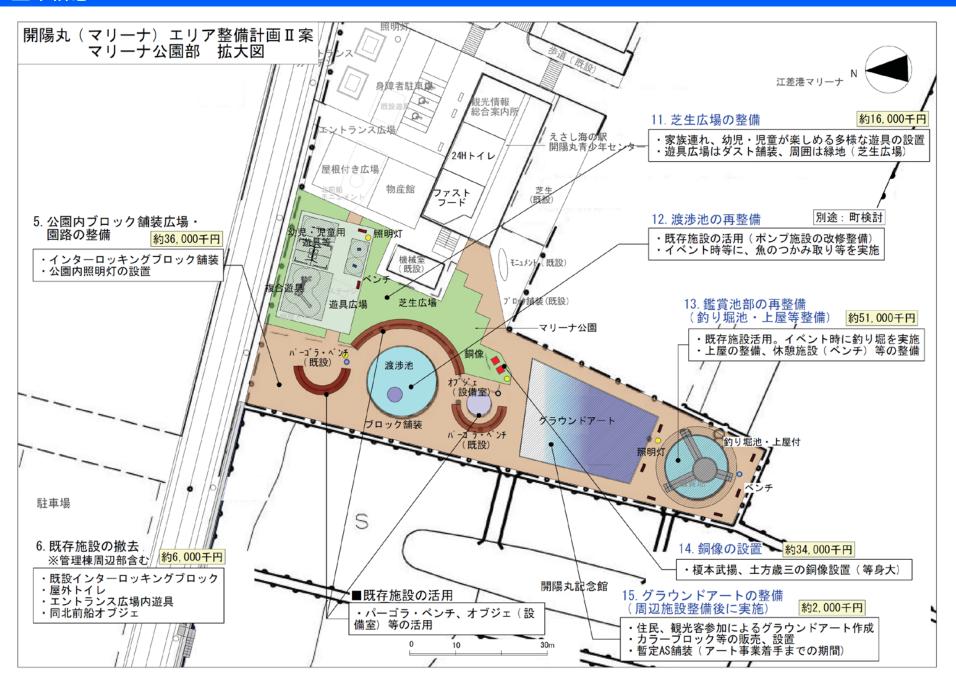




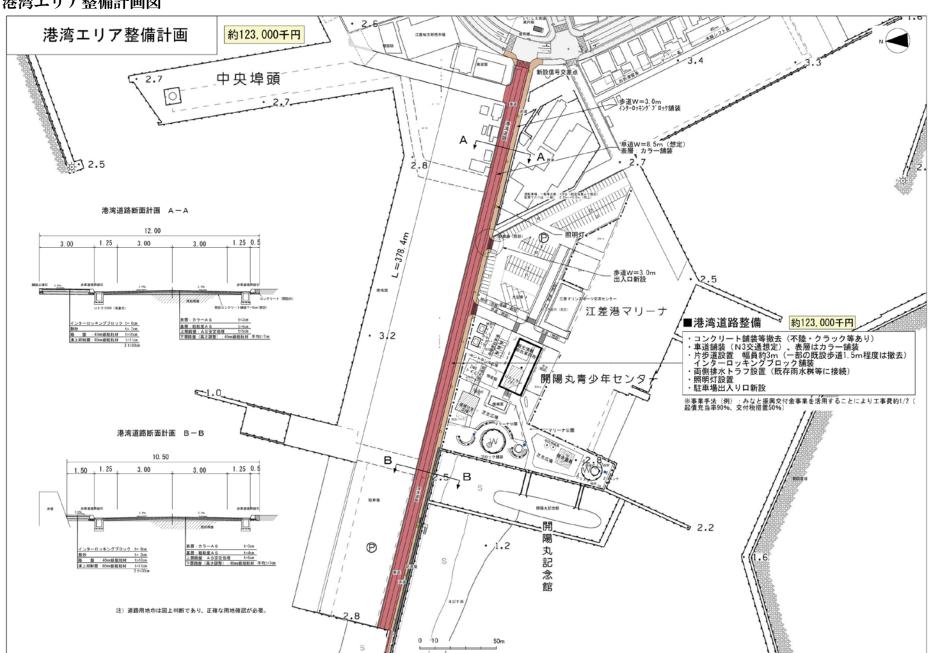




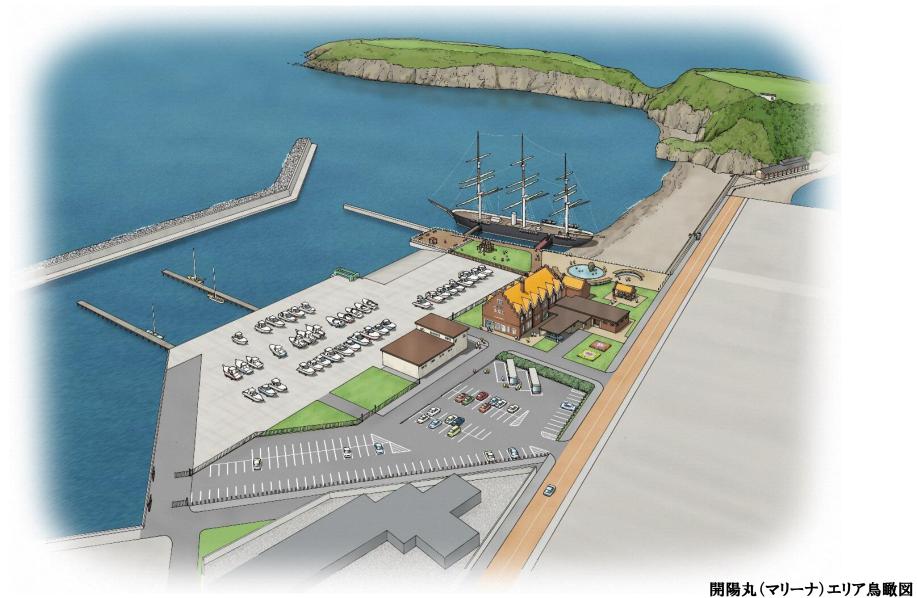




(5)港湾エリア整備計画図



(6) イメージパース





(7) 全体事業費

■かもめ島エリア

種別	I案	Ⅱ案	備考							
性が	金額(千円)	金額(千円)	1/用 - 芍							
1 ゴロベ浜階段(スロープ等)の整備	39,000	9,000	I 案:新設整備 Ⅱ 案:既存階段の活用							
2 えびす浜遊歩道(橋梁)の整備	114,000	114,000	Ⅰ・Ⅱ案同じ							
3 ゴロベ浜の整備	1,000	1,000	"							
4 えびす浜連絡階段等の整備	6,000	6,000	"							
5 千畳敷海岸への既設階段(北)の改修整備	19,000	19,000	"							
6 千畳敷海岸への既設階段(南)の改修整備	15,000	15,000	"							
7 旧寺子屋売店の利活用の検討	_	_								
8 既設階段の活用、車いす利用者への対応検討	_	_								
9 休憩所・用具レンタル所の検討										
合計	194,000	164,000								

■開陽丸(マリーナ)エリア

種別	I案	Ⅱ案	備考		
性 別	金額(千円)	金額(千円)	加 与		
1 一般駐車場の整備(既存活用)	10,000	10,000	Ⅰ・Ⅱ案同じ		
2 エントランスガーデンの整備	5,000	5,000	"		
3 身障者駐車場の整備	44,000	46,000	上屋面積の違い(園路部)		
4 エントランス広場・園路の整備	14,000	16,000	広場面積の違い		
5 公園内ブロック舗装広場・園路の整備	27,000	36,000	広場面積の違い		
6 既存施設の撤去	7,000	6,000	撤去物の違い(鑑賞池)		
7 屋根付き多目的広場の整備	38,000	32,000	上屋面積の違い		
8 開陽丸管理棟の屋根・外壁等の改修	45,000	45,000	Ⅰ・Ⅱ案同じ		
9 開陽丸管理棟の増築	99,000	46,000	I 案:トイレ+物産館 Ⅱ 案:物産館		
10 開陽丸管理棟の内部改修	19,000	41,000	I 案:飲食スペース Ⅱ 案:トイレ+飲食スペース		
11 芝生広場の整備	13,000	16,000	遊具施設・広場面積の違い		
12 渡渉池の再整備	34,000	_			
13 鑑賞池部の再整備	85,000	51,000	I 案:ウット゚テ゚ッキ園路・広場 Ⅱ 案:釣り堀池・上屋等		
14 銅像の設置	_	34,000			
15 グラウンドアートの整備		2,000			
合計	440,000	386,000			

■港湾エリア

種 別	金額(千円)	備考
撤去工 (コンクリート舗装版等)	18,000	L=378m
排水工(落蓋式Uトラフ)	16,000	W=12m 車道8.5m
• 縁石工 (歩車道境界縁石、舗装止縁石)	8,000	歩道3.0m(片歩道)
• 路盤・舗装工(車道:カラー舗装、歩道:ILB舗装)	57,000	
• 照明灯設置	24,000	
合計	123,000	

◎北の江の島構想全体事業費

区 分	I案	Ⅱ案	備考
Δ Л	金額(千円)	金額(千円)	1/III <i>^</i> 5
かもめ島エリア	194,000	164,000	
開陽丸(マリーナ)エリア	440,000	386,000	
港湾エリア	123,	,000	
合計	757,000	673,000	

3. 構想推進に向けて

■ 構想の推進体制

- 町のシンボル「かもめ島」を含めた周辺のポテンシャルを最大限に活用し、魅力の向上と新たな交流の創造、更には、雇用を含めた地域の活性化に繋げるためには、行政、町民、各関係機関、団体等と連携する体制が不可欠です。
- 本構想をベースに、町民や議会などと意見交換を実施しながら、基本計画、実施計画を策定していくこととなりますが、町財政の負担も伴うことから、国等の補助事業を活用しながら、整備目標年次を定め、堅実な事業実施に努めていきます。
- なお、短期的に展開できるソフト系事業については、既に実施している ものや新たな事業を含め継続的に実施し周辺の魅力創出を図っていきま す。

■ 整備に向けたロードマップ

- 本構想の推進にあたっては、前述のように、江差町全体の活性化の観点から、まちづくり計画と歩調を合わせることが重要です。
- 現在、取り組んでいる都市計画マスタープラン策定に「北の江の島構想」を位置づけるとともに、制度も検討することにより計画的に事業を推進できるよう事業環境を整えることが重要です。

■ 各種制度の活用

- 本構想の事業費は最大で6~7億円かかる見込みであり、町財政の持続可能性のため交付金制度を活用し、堅実に事業を実施していきます。
- 主要な事業制度の交付金充当の条件には、町が独自で計画を立案し、認定 を受けることが必要です。

ロードマップ案

年度	江差町総合計画	江差町まち・ひ と・しごと創生 総合戦略	まちづくり(都市計画等)	北の江の島構想		
H29 (2017)	· 後期基本計画	- 総合戦略	・都市マス策定 調査	- 構想策定		
H30 (2018)			・都市マス策定 ・ 立地適正化計 画策定	· 各種調查 · 基本計画策定 準備		
H31 (2019)	1	1		· 基本計画・実 施計画策定		
H32 (2020)	- 第 6 次総合計 画スタート ■	- 第 2 次総合戦 略スタート ■	・都市マス計画 スタート	・事業着手		
H33 (2021)						
H34 (2022)						
H35 (2023)						

※総合計画については1年前倒しで策定予定